

# 迷宮上手吉若君

第33話 Generation 1334

まついいゆきせい  
松井優征



人物紹介



北条時行

北条家末裔。「逃げ」が武器。



足利尊氏

突如、鎌倉幕府に反旗を翻し滅ぼした。時行の仇。



足利直義

足利尊氏の弟にして片腕。兄と反対に理論派である。

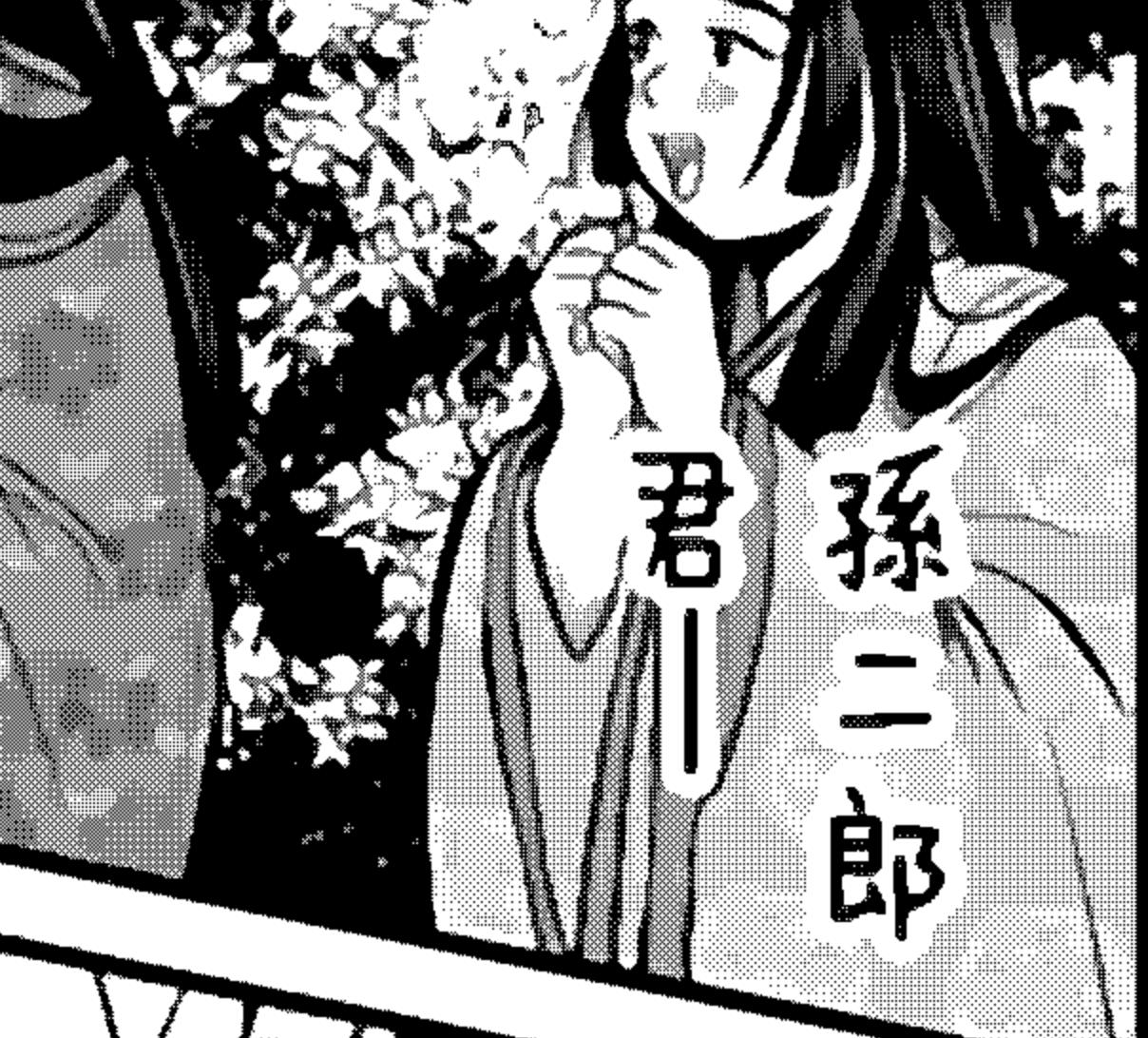
鎌倉百廢待興之際  
前來赴任的足利直義

他的左右手

正是

「關東庇番」

這一組織



針對城鎮復興  
與治安維護  
雙管齊下

上杉大人

君一  
孫二郎

而該組織成員  
均是肩負  
足利一門未來的  
青年才俊

資深郎黨  
留在京城  
輔佐尊氏

嗷嗚一  
哈哈哈哈

呀討厭



翻譯 我不做人了

@

漫威迷合會

簡直無話可說

有些  
人蒙受過  
北條恩惠

卻還不知廉恥地  
歡呼

別說刻薄話嘛  
澀川殿下

好運和桃花就該  
毫不猶豫地接住！

哦哦  
岩松殿下  
真可怕

居然在重視風紀的  
直義大人面前  
公然談論女性……

關東庇番眾 二番組副組長  
上杉憲顯(28)

關東庇番眾 二番組組長  
岩松經家(?)

關東庇番眾 一番組組長  
澀川義季(20)



※類似助手的職位





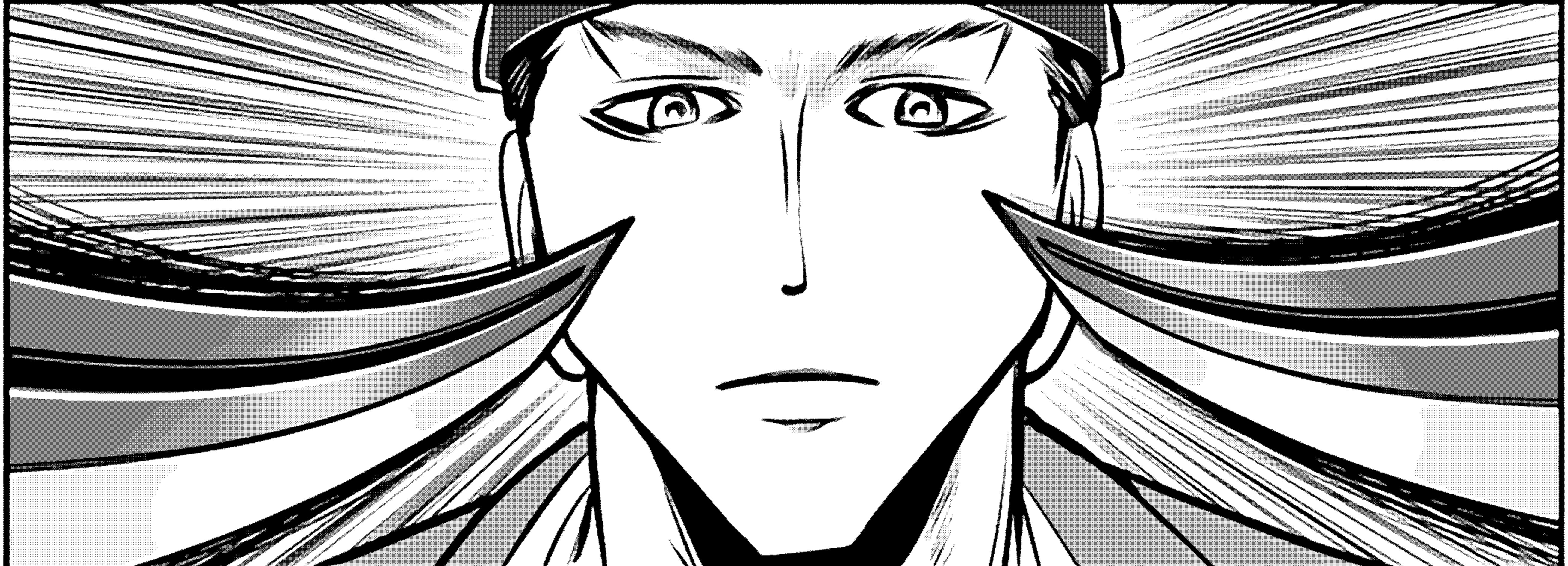
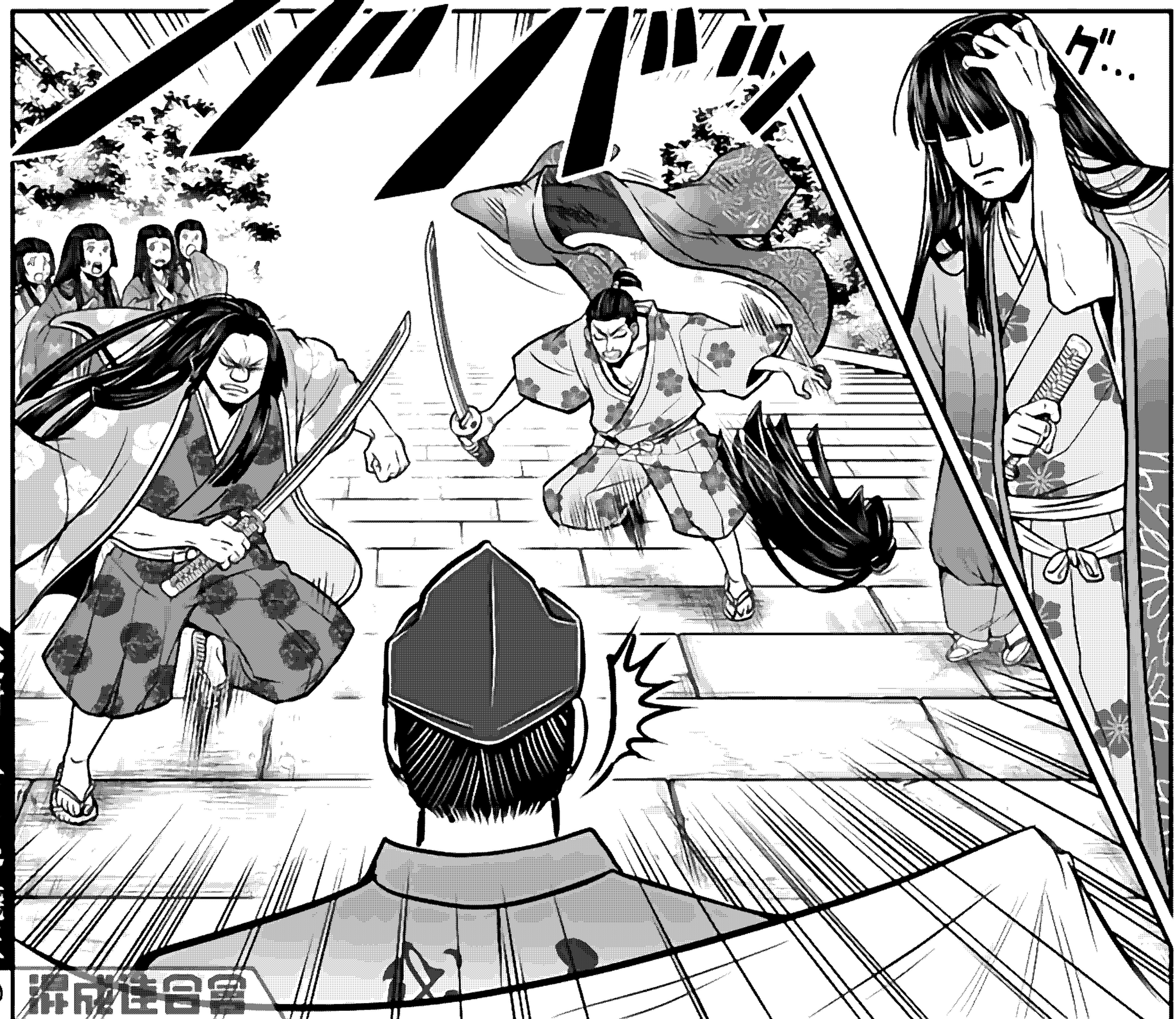
願鎌倉！

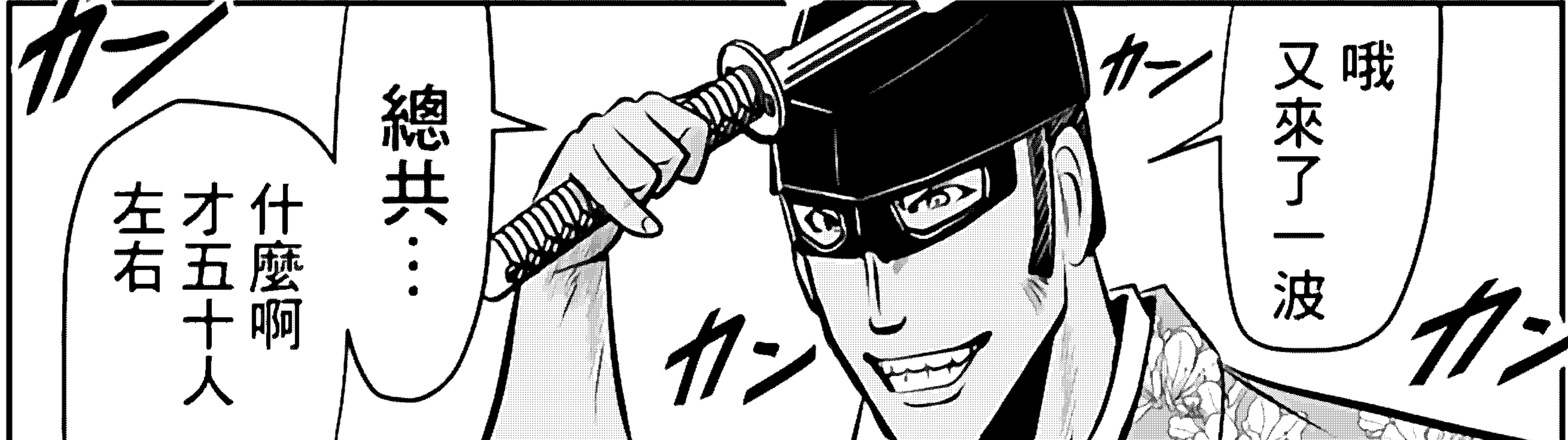
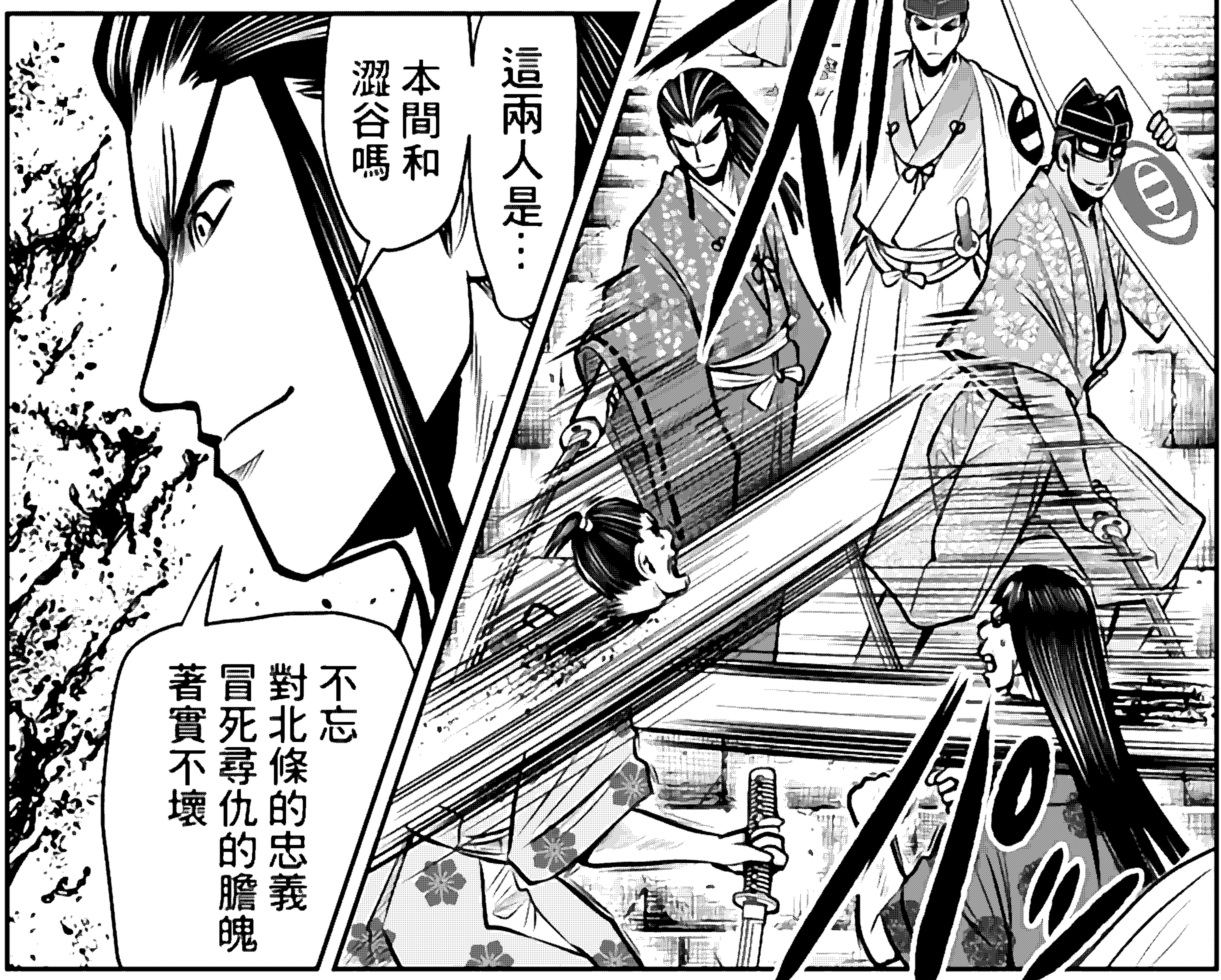
榮光永存！！



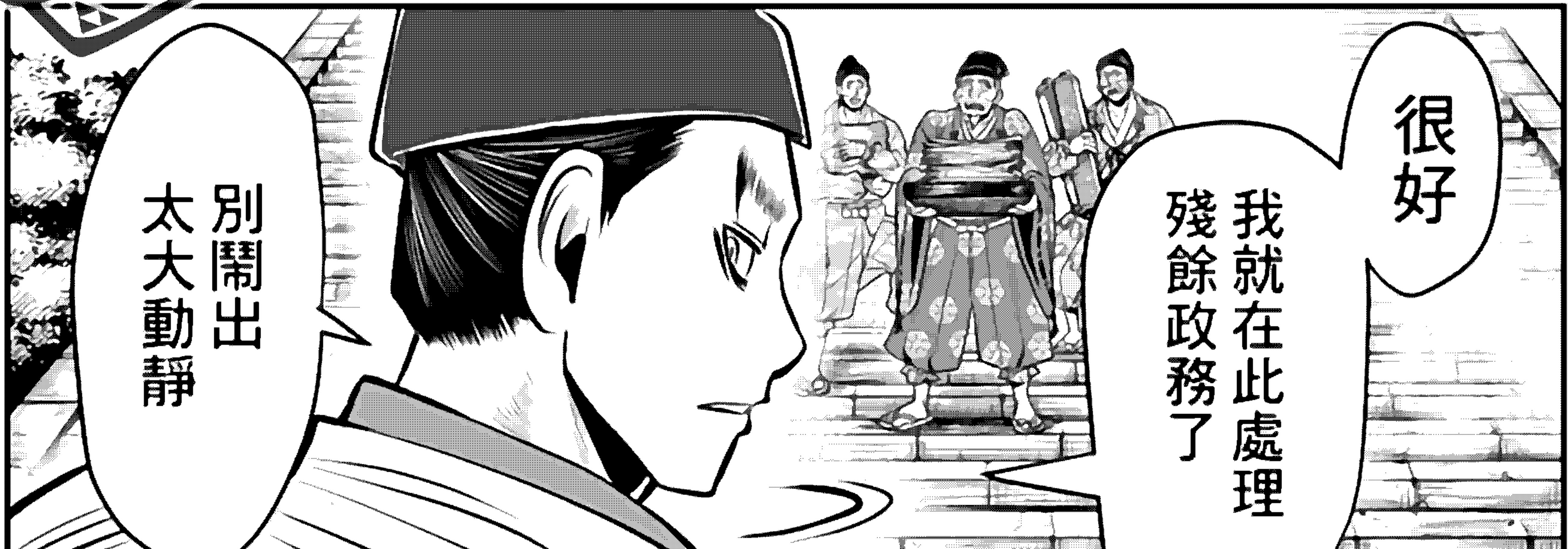
歡迎加入漢化測試群：648466051





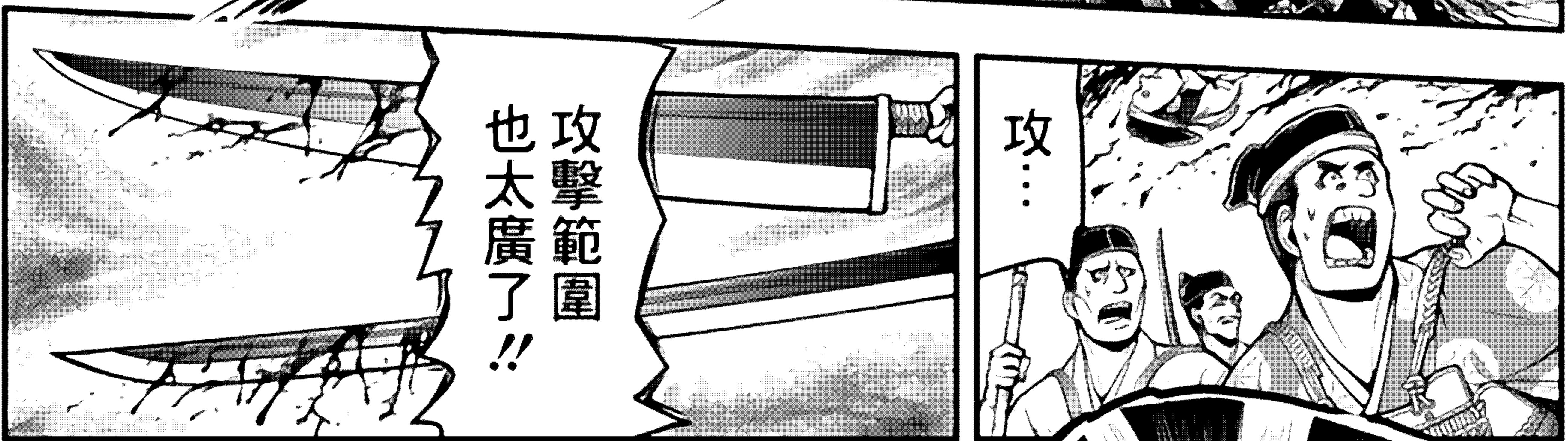
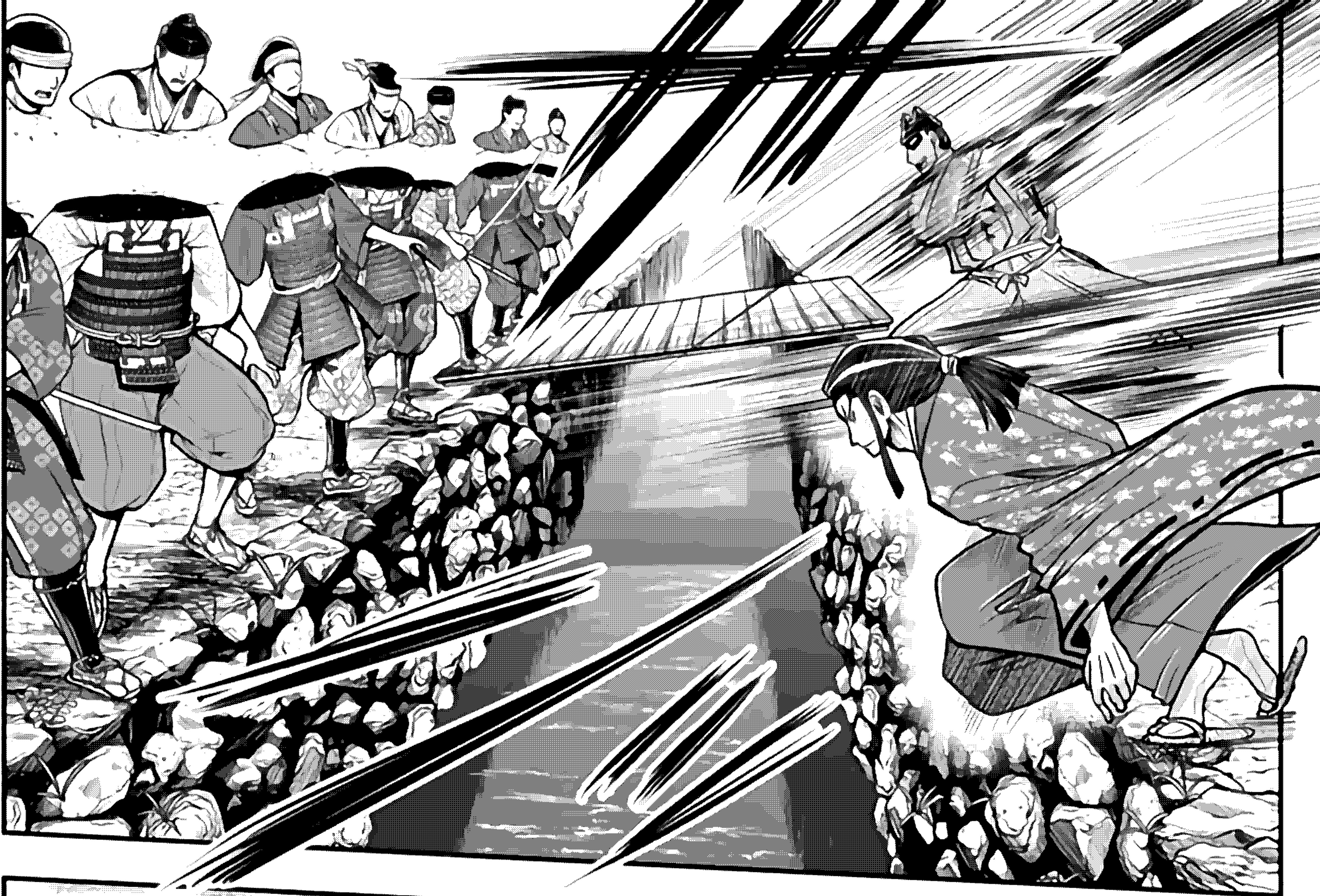




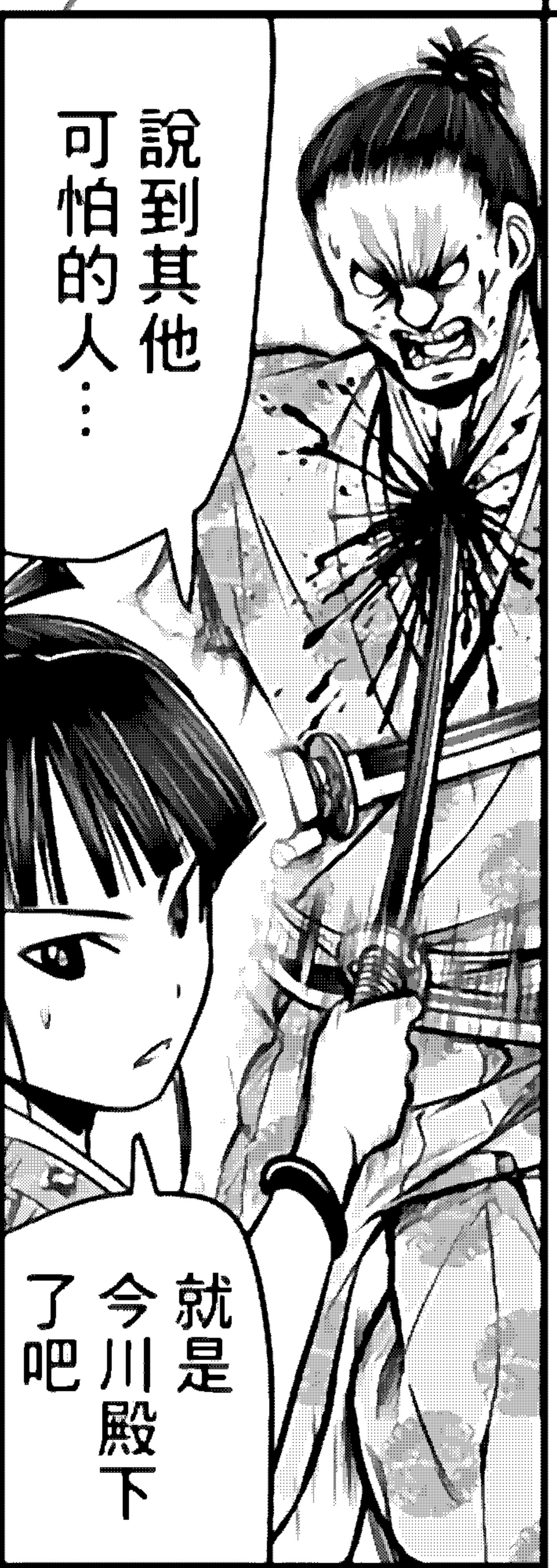












我的政務  
也處理完了

嗯……

去吃飯吧  
諸君

為室町幕府  
打下根基的  
足利直義

靠精明強幹的手腕  
將北條的鎌倉……

樂意之至

肚子  
餓了啊

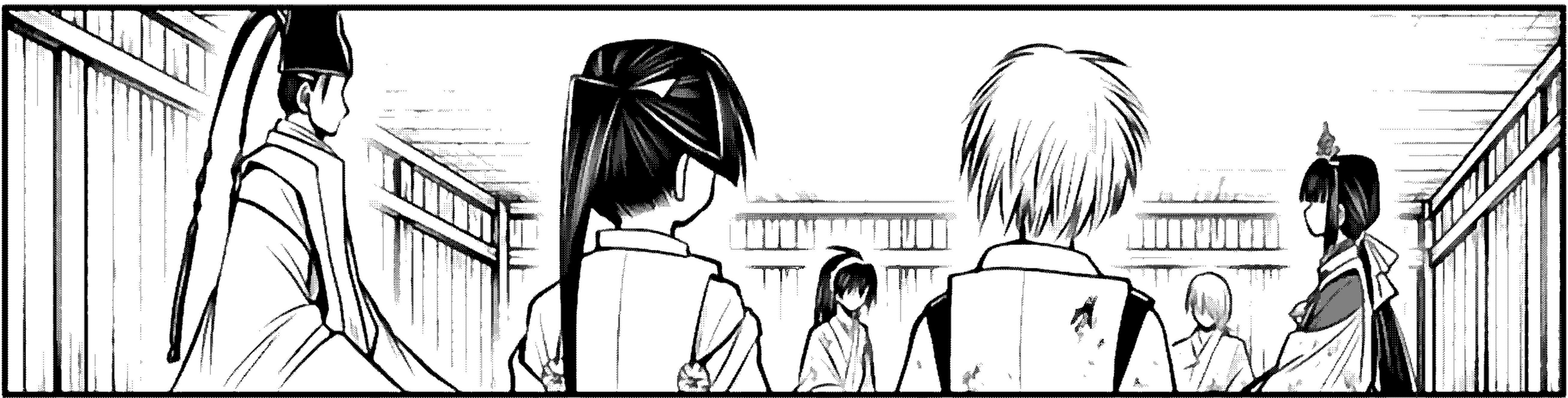
聽說今天  
鯛魚大豐收

要吃  
什麼？

談——  
光吃海魚  
會膩哦

漸步轉變為  
足利的鎌倉

演



論年輕  
是不會輸的

畢竟  
我才九歲

更何況

我對  
鎌倉的執念  
不遜於  
任何強者！

★新生力量的漩渦  
劃出時代的流界——

少主溜得快

第33話  
本話完

# 解説上手若君

時行が食べた鯛は内陸では超貴重。海鮮を運ぶのは大仕事！  
解説 本郷和人  
1960年、奈良生まれ。歴史の専攻で、ある頃は大学史前考古学の教授。おっちょこちょいでテレビや雑誌にも出演する。

## 生鮮食品について



源平の戦いでは木曾義仲が源頼朝に先んじて京に入りますが、彼は京都の貴族とのつきあいに失敗して滅びていきます。『平家物語』は猫問中納言の来訪を受け、田舎者丸出しの接待をしたと描写していますが、義仲は中納言に「無塩のヒラタケがあります。さあめしあがれ」とやって機嫌を損ねる。

無塩とは塩をふっていらない、生で、新鮮な、とれたてのヒラタケの汁があります。と義仲はもてなしたつもり。でも、もつときれいな椀に入れろよ、量が多すぎだろ、なんで松茸じゃないんだ、と中納言はむかつく。

### 当時の生鮮食品事情を教えて！



↑イナゴは栄養価が高いため当時の人たちにとって大事な食材。見た目で駄目な人も多いかもしれないが食べてみるとイケるかも！?

まあ、それはそれとして、このエピソードは、京都の人は塩をふって保存したものを食べていないことを示しています。代わりは魚であり、サバでしょう。サバは足が早いので有名ですね。生きの良いサバなんてまず食べられない。それから貴族の中には料理の家（四条家）があつて、包丁で魚をさばく儀式をやるので使われるのは新鮮な鯛です。京都には新鮮な海の魚があるんでしようね。

諏訪は地理的な条件は京都と同じようなものかな。鯛や鮒はいるけど、鯛は入手不可能。ただし、諏訪は京都より歴史が古いため、自然食の宝庫です。木の実や虫などが美味しいです。イナゴ、佃煮にしたらいいけます。本編にも出てきますね（笑）。



↑前号で時行が食べた生の鯛。やたらによる一切無駄のないチムワークで魚尻線を越えて諏訪に届けられた！

毒丸滾滾漢化

翻譯

我不做人了

## 卷末語

我沒有

選擇收銀櫃台的天賦。  
不論在那個櫃台排隊  
總是慢人一步。

校對

古今分殘丘

首發微博

@混成連合會

歡迎加入漢化

測試群

648466051

安字

桐ri  
澤澤

順位 13 / 21

W J 2 0 2 1 N O . 43

少王溜得快

第33話

整製

三十二